

平成29年度

国文学会研究発表会

研究発表

上代語の研究
—「狭霧」を中心に—

工藤超氏

『源氏物語』における言葉の様相
—「きよら」な夕霧の「きよげ」な姿—

古川幸奈氏

古典教材としての宇治拾遺物語

長岡由莉氏

国文学会は、国文学国語学の研究の促進および会員相互の親睦をはかることを目的として活動しており、各研究部会・文学散歩・研究発表会・講演会・会報発行を行っています。恒例の研究発表会は前年度優秀な成績をおさめた卒業論文に基づくものです。この発表を聞けば、論の組み立て方やその展開のしかたなどが良く分かると思います。現在、卒業論文に取り組んでいる4年生や題目決定を目前に控えている3年生はもちろん1・2年生からの参加を期待します。

とき 平成29年10月28日(土)10時00分～12時00分
ところ 2号館 224教室